



平成27年4月22日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード番号 7779 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二
部 門 責 任 者
(電話 029-869-9981)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年11月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成27年3月期連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 750	百万円 -	百万円 △558	百万円 △576	円 銭 △6.09
今回発表予想(B)	630	△1,760	△900	△900	△9.31
増減額(B-A)	△120	-	△342	△324	
増減率(%)	△16.0%	-	-	-	
ご参考：前期実績(平成26年3月期)	456	△1,154	△682	△688	△7.90

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式及びB種類株式1株につき、それぞれ5株の割合で株式分割を行っております。そこで、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(注) 当社の研究開発活動においては、行政機関等よりその費用分に見合う助成金等を受給して研究開発を行うことがあり、この場合は、研究開発費（販売管理費）と助成金等の収入（営業外収益）が連動して計上されることとなります。このため、前回の発表予想の営業損益の予想値については、かかる研究開発の有無によって営業損益が大きく変動するため、誤解を与えるリスクを考慮し開示しておりません。

2. 修正の理由

売上高につきましては、平成26年9月末に上市したHAL作業支援用（腰タイプ）が、平成27年2月に作業者向けの装着型ロボットとして世界で初めてCEマーキングを取得し、当初計画通り翌3月にドイツへ初出荷したほか、国内においてもHAL作業支援用（腰タイプ）とHAL介護支援用（腰タイプ）を合わせて、計画どおりの受注を獲得いたしました。海外事業の遅延の影響で約90百万円、平成27年1月に予定していた超軽量小型のHAL自立支援用（単関節タイプ）や新機能を搭載した自動搬送ロボットの初出荷がそれぞれ2月や3月にずれこんだ影響で約30百万円、前回発表予想を下回る見込みであります。なお、ドイツでの中長期的な観点からの脊髄損傷や脳卒中の患者を対象とした大規模なHALの臨床試験は順調に展開し、HAL治療の医学的効果を立証する臨床データを蓄積しており今後の公的保険の適用対象の拡大を進めています。

利益面では、第3四半期のファイナンス費用やHAL作業支援用（腰タイプ）、HAL介護支援用（腰タイプ）、HAL自立支援用（単関節タイプ）及び自動搬送ロボット等の商品化を加速するため研究開発投資を第4四半期に大幅に増加させたこと、売上高の翌期への繰越による影響から前回発表予想を下回る見込みであります。

以 上